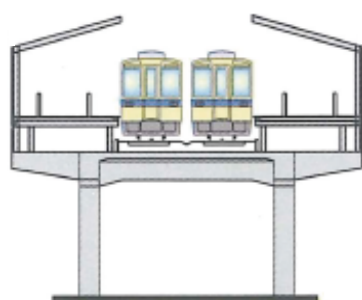


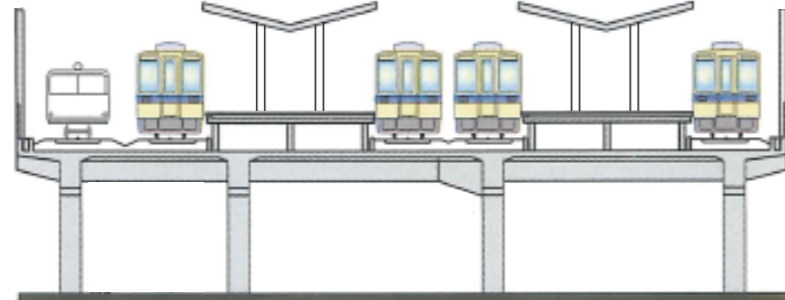
清水公園駅～梅郷駅間連続立体交差事業の概要

計画区間:清水公園駅～梅郷駅間
 事業延長:約2.9km 除却踏切:11箇所
 総事業費:353億円 事業完了:平成29年度(予定)

愛宕駅部高架化後のイメージ



野田市駅部高架化後のイメージ



平成26年1月撮影



TBH機による高架橋基礎杭の掘削



高架橋杭鉄筋の建込



野田市～梅郷間仮線工事中

伊勢崎駅付近連続立体交差事業の概要

計画区間:剛志駅～伊勢崎駅間
 事業延長:約2.2km 除却踏切:13箇所
 総事業費:149億円 事業完了:平成26年度

平成25年10月19日、高架線への切替えを実施、同日より新伊勢崎、伊勢崎の両駅で新駅舎の使用を開始するとともに、13箇所の踏切を除却しました。



高架化した新伊勢崎駅

お問い合わせ:東武鉄道(株)改良工事事部 ☎03-5962-2472

平成26年3月発行 / 東武鉄道(株) 改良工事事部

東武鉄道における高架化工事の現状



Vol.1



平成25年10月19日、伊勢崎駅付近の連続立体交差事業の進捗により、鉄道が高架化され13か所の踏切が廃止されました。

東武鉄道では、これまでも踏切の立体化に取り組んでまいりましたが、引き続き高架化等により踏切の立体化を推進してまいります。

○現在取り組んでいる事業

現在当社では、東京都足立区の竹ノ塚駅付近、千葉県野田市の清水公園駅～梅郷駅間、群馬県伊勢崎市の伊勢崎駅付近にて、各自治体と協力して事業を進めています。また、東京都墨田区のとうきょうスカイツリー駅付近、埼玉県春日部市の春日部駅付近の連続立体交差事業についても、早期事業化を目指し関係自治体等との協議を進めています。

○これまで立体化した踏切数

当社ではこれまでに、地元の協力を得て、立体交差道路整備にあわせた踏切廃止や道路改良による立体化により、危険な踏切の削減に取り組んできました。また、連続立体交差事業等の鉄道高架化を実施することにより、数多くの踏切を立体化しています。これらにより、現在、当社線全線の踏切数は981箇所となっています。

鉄道高架化に伴い立体化した踏切数

スカイツリーライン 48箇所、伊勢崎線 46箇所、日光線 10箇所、大師線 4箇所、野田線 21箇所
 合計 129箇所



太田駅(平成16年 高架化)



北越谷駅付近(平成11年 高架化)



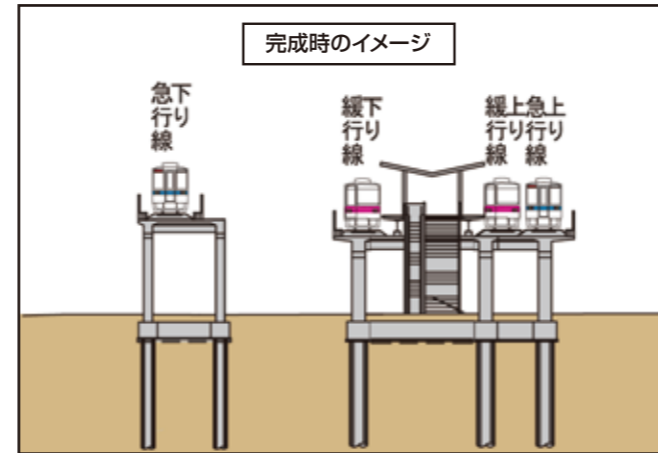
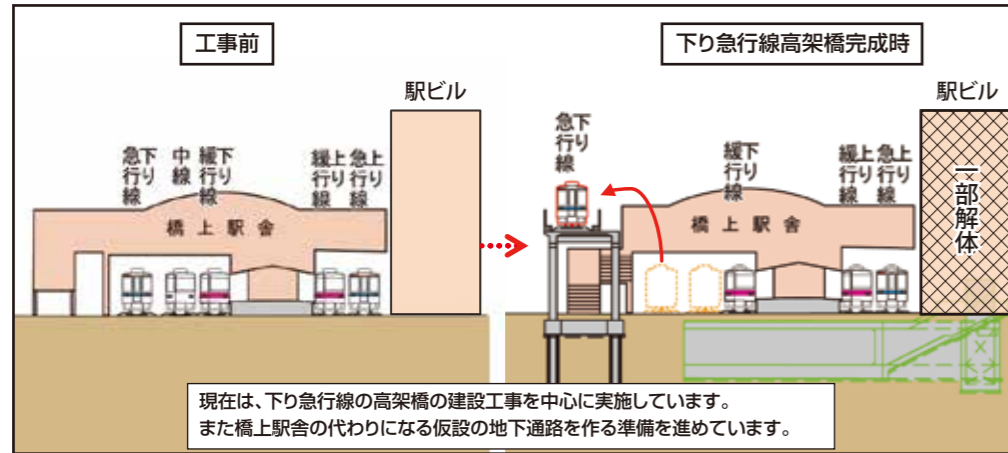
この印刷物は、FSC®認証用紙・植物油インキを使用し、グリーンプリンティング認定を受けた工場において印刷しています。また、この紙はリサイクルできます。

竹ノ塚駅付近連続立体交差事業の概要

計画区間:西新井駅～谷塚駅間 事業延長:約1.7km
 除却踏切:2箇所 総事業費:544億円 事業完了:平成32年度(予定)

現在下り急行線の高架橋の建設工事を中心に進めています。
 竹ノ塚駅部では、東口駅ビルの解体工事、西口の仮設階段設置工事等を実施しています。

平成26年1～3月撮影



高架橋の基礎杭を作っています。写真は孔を掘ったところに鉄筋を建て込んでいる様子です。このあとコンクリートを流し込んで基礎杭が完成します。



高架橋を作るために支障する西口階段を移設します。写真は谷塚方階段の鉄骨を建てている様子です。



高架橋を作る場所を確保するために線路を移設します。写真は道路を移設し、跡地に線路を移設するための準備工事の様子です。



高架橋の基礎杭を作っています。写真は孔を掘るときに周りの土が崩れないよう鋼管を設置している様子です。



ホーム上では、夜間に地下通路を作るための準備作業を行っています。



駅ビルの一部を壊して地下通路の出入口を作ります。



引上線があった場所に下り線の線路を敷くための路盤を作ります。写真は、盛土の土留杭を設置している様子です。



※工事期間中は、ご利用のお客様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。